

令和5年度 都立総合工科高等学校 定時制課程 年間授業計画

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	
対象学年・組・コース	第2年	1組	コース	自動車	電気	建築
教科担当者	三宅忍					
使用教科書	東京書籍					
使用補助教材	なし					
教科『 家庭 』の目標						
【知識及び技能】	生涯を見通して、生活中から課題を設定、解決策を構想、実践を評価・改善、根拠に基づいて論理的に表現し解決する力を身に付ける。					
【思考力、判断力、表現力等】	生涯を見通して、生活中から問題を課題を設定、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。					
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を見通して、生活中から課題を設定、解決策を構想、実践を評価・改善、考察し論理的に表現して課題を解決する力を身に付ける。					
科目『 家庭基礎 』の目標						
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
実社会に必要な家庭の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、考えを深めることができる。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	第1章 生涯を見通す、1人生を展望する2目標を持って生きる3人生をつくる	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	知：人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。思：生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	第2章 人生をつくる、1 これからの家庭生活と社会 2 家族・家庭を見つめる	・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。・実習	知：生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。思：男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	調理実習	みたらし団子	知・思・態：計画に沿って、他者と協力しながら調理を進めることができる。	○	○	○	2
	第3章 子どもと共に育つ、1 命を育む、2 子どもの育つ力を知る	・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解し、社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題を理解する。・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。・実習	知：生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。思：子供の健やかな発達のために地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	4 子どもと関わる5 これからの保育環境	・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。・実習	知：乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。思：子供の健やかな発達のために地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	5
第4章 超高齢社会を共に生きる、1 超高齢・高齢社会の利	・超高齢社会の背景を理解する。・高齢者が生きがいを持って生	知：高齢者を取り巻く社会環境について理解している。思：高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見だして課題を設定し、	○	○	○	5	

2 学 期	<p>旭尚郎・八木茂寿社云の到来2高齢者の心身の特徴3これからの超高齢社会</p>	<p>活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。</p>	<p>解決策を構想し、実践を計画・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>第6章 食生活をつくる1食生活の課題について考える2食事と栄養・食品3食生活の選択と安全</p>	<p>・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</p>	<p>知：ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。思：食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>2 食事と栄養・食品</p>	<p>・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。</p>	<p>知：食品の栄養的特質について理解している。思：食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>3 食生活の選択と安全</p>	<p>・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</p>	<p>知：目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。思：食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	調理実習	親子丼	知・思・態：計画に沿って、他者と協力しながら調理を進めることができる。	○	○	○	2
	<p>4 生涯の健康を見通した食事計画5調理の基礎</p>	<p>・自分や家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、健康によい、栄養バランスのよい食事とはどのようなものかを理解する。・実習</p>	<p>知：健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。思：持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	○	○	○	4
	<p>6食生活の文化と知恵7これからの食生活</p>	<p>・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。</p>	<p>知：自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、課題を解決する力を身に付けている。思：持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう課題を解決する力を身に付けている。態：自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第7章 衣生活をつくる1被服の役割を考える2被服を入手する3被服を管理する4衣生活の文化と知恵5これからの衣生活</p>	<p>・私たちが被服の社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解し、用途に合った着装を実践できる力を身につけ、被服の役割を理解する。・実習</p>	<p>知：ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。思：被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
<p>第8章 住生活をつくる1住生活の変遷と住居の機能2安全で快適な住生活の計画</p>	<p>・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。</p>	<p>知：ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。思：住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。</p>	○	○	○	6	
<p>3住生活の文化と知恵4これからの住生活</p>	<p>・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。・実習</p>	<p>知：防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。思：住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、</p>	○	○	○	4	

		地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。						
第9章 経済生活を営む1情報の収集・比較と意思決定2購入・支払いのルールと方法3消費者の権利と責任4生涯の経済生活を見通す	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	知：消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。思：責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 態：様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○		6	
定期考査			○	○			1	
							合計	70